

学校づくりワークショップ〈地域編〉News Letter ②

9月15日（月・祝）の朝、糀谷中学校 1 階特活室で、「学校づくりワークショップ/地域編『まなび場×しゃべり場』」の第2回を開催しました。

参加者は、地域のみなさんや学校関係者、区職員、設計チームなど運営スタッフを含め19名でした。

この日のテーマは「防災拠点機能」スペシャル！「学校×防災のヒント」を聞いたあと、グループに分かれて「日常の安心・安全」と「災害など非常時に役立つ機能や工夫」、「日常の安全ともしもの安全をつなぐ工夫やアイデア」について意見を交わし、発表・共有しました。



学校づくりワークショップ〈地域編〉第2回 「防災拠点機能」スペシャル！

1 はじめに～前回のふりかえり～この間の動き

はじめのあいさつのあと、第1回の地域編ワークショップ「まなび場×しゃべり場」をふりかえりました。また、これまでに行ってきたその他の学校づくりワークショップ（「改築懇談会編」、「生徒・教職員編」、「情報発信編」）の様子を紹介しました。

糀谷中学校の改築に向け、いろんな意見を聞いて進めています。いただいた意見は全部反映できる訳ではありませんが、どうすればいいか迷った時に、皆さんからいただいた意見に立ち戻ることができる。地域の皆さんの意見が本当に参考になっています！



大田区教育委員会事務局
小野澤 教育施設担当課長

2 アイスブレイク「安心安全カード」

「学校と聞いて安心できるもの」と「災害のときに心配なこと」を各自が附箋に書いて、2～3人で紹介し合ったあと、貼り出して全体で共有しました。

学校と聞いて安心できるもの

広いグラウンド、体育館がある／
高い頑丈な建物／先生が見てくれる、仲間がいる／助けてもらえる、会話ができる／人や情報が集まる／食料や物 など

災害のときに心配なこと

浸水／倒壊／食料不足／水／薬／
充電／トイレ／寝るところ／
連絡手段／ペット／地域のお年寄りが多い／子どもたちの安全／防犯 など



3 おはなし「学校×防災のヒント」

■防災訓練の紹介

毎年、糀谷中学校の防災拠点訓練を消防関係や地域の方の協力で行っています。参加者は、1年生全員と2～3年生のボランティア、夜間中学の生徒、教職員。地域の方に直接関われる機会はすごく大事。学校全体で盛り上げていければと思っています。



糀谷中学校 瀬上 副校長

■防災に配慮した学校整備の事例紹介

学校は身近な避難施設。日常から地域の方が使えと、いざという時に機能していきます！



東畑建築事務所 高木さん

4 グループワーク「いつもの安全&もしもの安全～日常と非日常をつなぐアイデア」

3つのグループに分かれ、「■学校にあるとうれしい日常の安心・安全」、「■災害など非常時に役立つ機能や工夫」、「■日常の安全ともしもの安全をつなぐ工夫やアイデア」のアイデアを出し合い意見交換。全体で発表共有したあと、各自で各グループのシートを見て回り、「いいな」と思ったアイデアにシール(★)を貼って投票しました。

学校にあるとうれしい日常の安心・安全

- ・エレベーター ★★★
- ・トイレがきれい ★
- ・ゆったりできるホール ★
- ・掲示板（天気とか地域とか…）★
- ・室内プール ★ など

災害時など非常時に役立つ機能や工夫

- ・体育館(避難所)と校庭をつなげる ★★
- ・音楽を聞きたい。リラックス効果 ★★
- ・家族など安全確認の掲示板 ★★
- ・ストレスケアできるホッとできるスペース ★
- ・食料★ ペットの避難スペース★ ひよけ★ など

日常の安全ともしもの安全をつなぐ工夫やアイデア

- ・普段から地域の人にも学校プランを分かりやすく(サイン表示などを各階に) ★★★★★
- ・学校全体の地域開放 ★★★★★
- ・地域の人も使えるコミュニケーションの拠点。非常時も心の拠り所になる ★★
- ・防災キャンプの日常化 ★★ ←何が必要か、何が足りないかを点検し、町の人をつなぐ！
- ・子ども食堂 地域の学び場しゃべり場になるスペース ★ ←家庭科室、理科室も炊出しに使える！
- ・リラックス 気分転換できるソファ たくさんの本 ★ ←図書館にボードゲームを備蓄！
- ・銭湯をつくる ★★★★★ ←プールの水を利用してシャワー、お風呂、マンホールトイレ
- ・区切られたスペースとパーティションを準備 ★★
- ・少人数教室⇔避難時の個室★★
- ・スリッパ、くつがもらえる ★
- ・太陽光発電（普段：学習、災害時：発電）★
- ・避難時に昼も夜も職員がいる ★★
- ・近くに AED や消火器を置く ★ など



1 グループ



「遊べる・学べる・助け合える」。ここに来れば安心安全、知らないことを教えてもらって助け合って生きる力をもらえるような場所にしたい！

2 グループ



防災キャンプの日常化。学校全体が地域支援室、地域の居場所になり、学校内で顔の見える関係を構築したい。災害時、前に向かって生きていく力を得るために遊ぶことも大事！

3 グループ



校庭を体育館をつなげる。トイレやプールの通路も使いやすくバリアフリーに。ゆったりできるホール、広い更衣室。太陽光発電は普段は学習に使うといい！

「気づいたこと・発見したこと」(感想カードより)

防災は地域の皆さんとの交流から始まると思いました
／榎谷中は思っていたより地域の交流の場になることができるのだなと思った。夜間の人達がどのように過ごしているのかももっと知りたくなった／楽しい学び場でした／地域の昔の話も伺えて知見が増えました ほか

■設計ワークショップ運営チーム

大田区教育委員会 教育総務課施設担当：大森・井上

株式会社東畑建築事務所：高木・保科・山田・田中

まち楽房有限会社：加藤・榎原